

令和3年第8回（12月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>◎ 佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現に向けて 【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 佐渡の未来予測について</p> <p>① 2050年カーボンニュートラルの実現までのロードマップと佐渡市の人口予測</p> <p>② 世界農業遺産、日本ジオパークの成熟化及び世界文化遺産登録後の方針</p> <p>③ 3冠から4冠へ、「森は海の恋人」を体現する生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）への挑戦</p> <p>④ 地域循環共生圏×SDGs未来都市×ESG投資の推進</p> <p>⑤ タブレット等導入によるGIGA議会構想の実現</p> <p>(2) 健康長寿の島づくりについて</p> <p>① 「健康寿命日本一の島」の具体的な施策は</p> <p>② 未病（みびょう）の島づくりの必要性</p> <p>③ 温泉を利活用した高齢者のためのシェアハウス（CCRC）の実現</p> <p>④ ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の促進</p> <p>(3) ウッドショックのピンチをチャンスに変える戦略について</p> <p>① 佐渡産木材の利活用状況、木質バイオマスの推進</p> <p>② 森林環境譲与税の活用方針</p> <p>③ 手刻みマイスター制度（仮称）の設立提案</p> <p>④ 旭川大学「君の椅子」プロジェクトの島内実現</p>	室岡啓史
2	<p>1 学校教育について</p> <p>(1) 英語教育について</p> <p>① 令和2年度より、小学校の英語教育が3・4年生から必修化され、「外国語活動」が始まり、5・6年生から「外国語」という教科になったことに対する佐渡市教育委員会の見解を求める</p> <p>② 小中学生が実用英語技能検定などを受験する場合に、受験料の一部を助成する制度を創設できないか</p> <p>(2) 教科担任制について</p> <p>① 令和4年度より、全国の公立小学校の高学年に対し、教科担任制が導入されることが決定したが、導入に向けた道筋について、佐渡市教育委員会としてどのような見通しを持っているか</p> <p>② 令和4年度に向けて市内小学校における教科担任制導入に向けた準備状況はどうか</p> <p>(3) 安全な通学路確保について問う</p> <p>① 令和3年度の通学路整備計画の進捗状況と整備完了への見通しはどうか</p> <p>② 令和3年7月に文部科学省から出された「通学路における合同点検の実施について」への対応はどうか</p> <p>③ 地域住民との通学路危険箇所の共有について問う</p> <p>④ 佐渡市通学路交通安全プログラムの評価について見解を求める</p> <p>2 佐渡市高齢者保健福祉計画について</p> <p>(1) 令和3年4月1日現在で、特別養護老人ホーム入所申込者は453名おり、その中でも真に必要なとしている人は158名いるが、解決するための課題は何か</p> <p>(2) 居宅介護の現状と課題は何か</p> <p>(3) 健康寿命の延伸の取組と課題は何か</p> <p>3 市が行う説明会について</p> <p>(1) 各説明会において開催ありきになっており、市民に必要な情報が届けられているか</p> <p>(2) 市が行う説明会をユーチューブ等でも広く広報し、移住を検討している方たちにも伝えるべきと考えるが、どうか</p>	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>1 離島振興と国境離島関係の国陳情に市長はどう対応したのか</p> <p>2 海上輸送体系の課題にどう取り組むのか</p> <p>(1) 佐渡汽船の経営問題にどのように対応するのか。出資事業者の意向により、島民は更に負担と不便を強いられるのか</p> <p>(2) 小木航路の在り方に対して県・上越市の考え方は</p> <p>(3) 貨物輸送体制と和幸船舶について</p> <p>3 地域医療と福祉・介護の充実</p> <p>(1) 相次ぐ病院閉鎖により、島外医療機関へ依存するしかないのか。在宅・遠隔医療への取組は</p> <p>(2) 医師不足は施設医師不足を意味するが、どうか</p> <p>(3) 新設される一般社団法人「佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会」は何をを目指すのか</p> <p>(4) 課題解決には垣根を超えた統合と連携が必要ではないか</p> <p>(5) 認知症と生きる仕組みづくりは</p> <p>4 市民参加と協働による地域づくりの推進</p> <p>(1) 施政方針で述べた「支所・行政サービスセンターの機能拡充」は成果を上げているか</p> <p>(2) 地域づくりの主役は存在しているか</p> <p>5 コロナ禍における循環型社会と外貨獲得について</p> <p>(1) 佐渡への来訪者が伸び悩む現状であるが、三大遺産など佐渡の素材や価値を外貨につなげる方法は</p> <p>(2) 脱炭素社会から生まれる価値をどう貨幣化するのか</p> <p>(3) ローカルSDGsとはどのような姿なのか</p>	金田 淳一
4	<p>1 世界農業遺産認定 10 周年記念フォーラムを終えて、今後の佐渡市の進むべき方向性について問う</p> <p>(1) 世界農業遺産の意義と持続可能な地域づくりに向けて課題は何か</p> <p>① 佐渡市における世界農業遺産の魅力発信は伝わっているか</p> <p>② 指定棚田地域の維持は、どのように取り組むか</p> <p>(2) 佐渡市における持続可能な環境保全型農業について</p> <p>① みどりの食料システム戦略で、佐渡市モデルはどのようなことを目指すか</p> <p>② 有機農業、自然栽培を普及するためには、栽培理論や実践について指導する教育機関等が必要だが、市としてどのように取り組むか</p> <p>(3) 2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた農業分野での取組はどうするか</p> <p>① 有機質の島内調達による炭素削減について</p> <p>② 水田での粗飼料自給率向上による畜産振興と炭素削減の可能性について</p> <p>③ 家庭や事業者から出される厨芥類を活用した循環型農業システムについて</p> <p>2 佐渡市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について問う</p> <p>(1) 地域包括ケア「見える化」システム等を活用した介護状況の把握について</p> <p>① 地域毎の介護度分析で、地域の特性を生かした生活支援の取組ができないか</p> <p>② 地域毎の介護費用の分析で地域の達者度を見える化し、達者な地域に学び介護費用の削減の取組ができないか</p> <p>(2) 高齢者実態調査、在宅介護実態調査について</p> <p>① 高齢者実態調査、在宅介護実態調査は抽出で行っているが、悉皆調査による状況把握で実態に基づく施策の構築が必要ではないか</p> <p>② 高齢者実態調査で、項目毎に地域課題が述べられているが、実態把握や対策を講じる場合に旧市町村単位では大きすぎないか</p> <p>③ 在宅介護実態調査では、介護度が上昇するにつれて施設入所が検討されているが、施設待機者を含めてどのような手立てを講ずるか</p> <p>④ 両調査では、利用者並びに家族の生活の安定、持続的な介護サービス利用のためには家計調査が必要と思慮するが、調査はしてあるか</p> <p>3 スマートアイランド推進実証調査と光回線整備について</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
4	<p>(1) 佐渡市光回線整備説明会は、光回線利用による将来ビジョンを提示した住民説明が必要ではなかったか</p> <p>(2) スマートアイランド推進実証調査での島内電子通貨を活用した地域循環共生プロジェクトは何を目指しているか 「目指す姿・期待する効果」では</p> <p>① 電子地域通貨を活用した購買行動のデータ化等により、地域経済の活性化と行政サービスの向上とは、どのようなことができるのか</p> <p>② タクシー交通の効率化とコスト削減による交通サービスの維持とは、どのようなことか</p>	佐藤 定
5	<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 「新たな学校再編成計画」策定の取組状況について問う</p> <p>① アンケート調査の実施について 学校統合の賛否を問うアンケート調査がされているが、教育委員会は、保護者、地域と統合に対する認識を共有しているのか</p> <p>② 学校再編成計画の概要について 佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会が設けられ、検討がされているようだが、統合についての方向性が定まっているのか</p> <p>(2) G I G Aスクールについて問う</p> <p>① タブレット端末の選定について 現在、小中学校で使用されているタブレット端末のOS・デバイスは数種類ある中で、どのような経過をたどって現在の機種が選定されたのか</p> <p>② タブレット端末の取扱いについて 文部科学省は、自宅での端末利用は有効で、ルールをつくって環境を整備してほしいと呼びかけているが、佐渡市の対応はどうか。また、ID・パスワードの管理、フィルタリングは厳格になされているか</p> <p>③ 回線の通信容量不足について 島外の学校にあっては、通信の容量不足により、つながりにくい状態になっている学校があるとされるが、佐渡市の状況はどうか</p> <p>④ デジタル機器の導入による教室面積拡大について 今後、電子黒板や大型モニター等の関連機器の配備が進み教室が手狭になることが懸念され、文部科学省としては、整備を支援するとあるが、佐渡市としての対応はどうか</p> <p>⑤ タブレット端末を導入したことによる学習効果について 端末を導入したことにより、生徒たちの学習能力の向上や端末の扱い方のスキルは向上したのか</p> <p>2 山林行政について</p> <p>(1) 森林環境譲与税について問う</p> <p>① 森林環境譲与税に基づく事業の進捗度について 令和3年6月定例会一般質問以後の意向調査は順調に進んでいるのか</p> <p>② 意向調査、計画に基づく佐渡市全体の調査の終了はいつか 新潟県全体で見ると佐渡市は遅れていると思えるが、全ての調査の終了は何年と見ているのか</p> <p>③ 木材利用、普及啓発を積極的に進める必要性について 譲与税の額が少ない市町村でもいろいろなイベントを開催して木材の使用や木質化、また木製品の利用を促すキャンペーン等を積極的に行っているが、佐渡市でも実施すべきではないか</p> <p>④ 林業における人材確保、育成についての対策は取っているのか 当初の年度別計画によると、令和2年度から林業団体育成支援として、資格取得の補助をされているが、どのような資格が取得されているのか</p> <p>(2) 森林セラピーについて</p> <p>① 新たな観光資源として、最近森林セラピーが注目されているが、佐渡市としても</p>	山本 卓

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>森林浴を観光ルートとして組み入れ、温泉と一体となった観光開発ができないか</p> <p>3 佐渡市として犯罪被害者等支援条例の制定ができないか</p> <p>犯罪被害者等が受けた被害を回復・軽減して、安心して暮らすことができるよう、地域全体で被害者に寄り添い、また、支え合う社会の実現に向けて各市町村が条例の制定を検討されているが、佐渡市も必要と考えるがどうか</p>	山本 卓
6	<p>1 コロナ克服・新時代開拓のための経済対策として、財政支出 55.7 兆円、事業規模 78.9 兆円の財政出動が閣議決定された。主なものに「防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保」があり、5 年加速化対策に基づく防災・減災を推進することとされている。本市においても、このような国の予算を積極的に獲得して、コロナ禍で低迷する地域経済に活力を与えていくべきではないのか</p> <p>(1) 次年度に向けた弾込めとして、具体的にどのような形で関係省庁へ働きかけることができたのか。今年度の活動実績について問う</p> <p>(2) 次年度、新たに期待できる公共事業として、本市においては具体的にどのようなものが想定されるか</p> <p>(3) 令和 3 年 3 月に策定された「佐渡市国土強靱化地域計画」における個別施策の実施状況はどうなっているか</p> <p>2 離島振興法及び有人国境離島法における関連事業について</p> <p>(1) 全国離島振興協議会での要望活動や、次年度予算に対する各種営業活動の中でどのような成果を得ることができたか。市長の見解を求める</p> <p>(2) 有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する基本的な方針の中に、地方創生による地域ぐるみでの創業・事業拡大の促進として、「一事業者、一業種のみでは対応が難しい働き手の不足の問題については、地方公共団体が主導して、例えば、島全体の人材派遣会社を設立し、人材を島内外から一元的に確保、訓練して、業種ごとの繁忙期に応じてマルチワーカーとして活用するといった効率的な人材活用に関する取組を検討・推進する。」と記載されている。県内では粟島浦村が先行しているが、本市ではどのように取り組むつもりか</p> <p>3 内閣府等による「離島振興のための支援メニュー集」の中に「エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業」がある。市民力を生かし連携していくことができる事業であり、地域活性化を目的として、積極的に予算を獲得すべきではないのか。市長の見解を求める</p> <p>4 令和 4 年度、組織編制方針について</p> <p>(1) 現状の課制では、一体何が問題なのか。部制にしなければ乗り越えられない課題は一体何なのか</p> <p>(2) 過去の部制の反省点が述べられているが、確実に改善できるとする根拠はどこにあるか</p> <p>(3) 部制により、組織の階層が増えることになる。弊害として、よりスピード感が失われてしまうことを危惧するが、問題ないのか</p> <p>(4) 人件費総額はいくら増額する見込みか</p>	後藤 勇典
7	<p>1 佐渡航路の安定と充実</p> <p>(1) 小木ー直江津航路の今後はどうなるのか</p> <p>① カーフェリーが走らない小木港は、観光客もまばらで活気のないものとなっている。佐渡汽船にカーフェリー就航の要望はしているものの、佐渡市として、この現状をどうするつもりか</p> <p>② 南部の活気を取り戻すためにも航路は大切なインフラだが、今のままでは存続すら危ぶまれる状況だ。仮に赤泊ー寺泊航路のようになくなったとき、南部の今後をどう考えるか</p> <p>2 佐渡のエネルギーを考える</p> <p>(1) 県の「自然エネルギーの島構想」の具体策は</p> <p>① 具体的なものが決まっていないようだが、2050 年カーボンニュートラルのためには化石燃料の使用を少しでも減らすことが課題なので、協力してもらえるところから太陽光発電の促進を図るべきと考えるがどうか</p>	中川 健二

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>② 太陽光発電は大分身近な自然エネルギーとなっていると言えるが、余剰電力の調整が大きなネックとなっている。そこで太陽光発電と蓄電池のセットでの普及が望ましいが、どう考えるか</p> <p>(2) 自動車での化石燃料消費の減少を EV(電気自動車)・FCV(燃料電池自動車)の普及によることで直接的な化石燃料の消費を抑えることができるので、EV・FCVの普及に力を入れるべきではないか</p> <p>3 佐渡の林業活性化の道を探る</p> <p>(1) 原木の移出より加工品の販売に力を入れるべきではないか 加工販売のためには機械導入が必要と考えるが、その道筋を立てることができるか</p> <p>(2) 木質チップを利用したボイラーやストーブの利用促進を進めるべきではないか 原木に輸送コストをかけて移出するより、島内の薪ストーブ利用者や木質ボイラーに利用すべきではないか</p> <p>4 特産「おけさ柿」の販売促進で収量の増加を目指す</p> <p>(1) 霜被害による収量減少は作付減少の引き金になると危ぶまれる</p> <p>① 霜被害者への手当はどうなっているか</p> <p>② 減収は離農を招き収量の確保ができなくなるおそれがあるが、そのことをどう考えるか</p> <p>(2) おけさ柿選果場が従業員不足となっている おけさ柿選果場の従業員不足は、出荷作業の停滞を招く結果となり、販売に支障を来すこととなる。早急な対策が必要だが、行政も何らかの手立てをする必要があるのではないか</p>	中川 健二
8	<p>1 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金(佐渡市雇用機会拡充事業補助金)について問う</p> <p>(1) 制度内容について</p> <p>(2) 雇用していないケースが見受けられるが、どうか</p> <p>2 島民にも空き家利用対策をできないか 島民が空き家を利用した場合でも補助金を適用できないか</p> <p>3 新潟一両津航路と小木一直江津航路の今後について問う</p> <p>4 佐渡市防災拠点庁舎建設工事費概算額、以前説明してもらったこと等を問う</p> <p>(1) 基礎工事は適切に実施されるか。また、予定している工期内で完了できるか</p> <p>(2) 建設工事費概算額が増額にならないか</p> <p>5 以前質問した海岸清掃活動・交通等について問う</p> <p>(1) 海岸清掃活動を市が実施したが、さらに充実して実施してもらえるよう県に要望できないか</p> <p>(2) 静平地内のスクールバス混乗事業の協議の状況について</p>	山本 健二
9	<p>1 総選挙後の憲法改正等への市長見解</p> <p>(1) 先の総選挙で自民、公明、維新の改憲勢力で憲法改正を発議できる3分の2を確保するとともに、来年の参院選と同時に憲法改正の国民投票を行うなどとの流れが急展開しているが、憲法改正についての市長見解を求める</p> <p>(2) SDGsにも大きくつながる気候変動対策で、11月13日閉幕のCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国際会議)で国際NGOから「化石賞」が贈られるほど、日本は国際的潮流から大きく遅れているが、SDGs未来都市を目指す佐渡市長として、どう捉えているか</p> <p>2 総合計画と市組織改編について</p> <p>(1) 課制から部制への移行で、市民対応はどう充実するのか。また、組織改編の理念は何か。また、形を変えても、職員がやりがいをもってやれる体制なしにいい方向は生まれませんが、どう対応するのか</p> <p>(2) 新設のデジタル政策室は、どのような目的及び推進体制となるのか</p>	中川 直美

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>(3) 市民の意見反映の島づくり、支所等の機能拡充と地域づくりを進めるとしてきたが、地域や住民主体の取組（自治機能）に行政が寄り添って課題解決方向を見いだしている方向や住民提案型事業による取組の先進事例も全国的には生まれているが、組織改編でどう対応するのか。また、市として各地域課題は何と考えているのか</p> <p>3 子育て支援の国民健康保険の子ども均等割軽減について 国は「子ども・子育て支援の拡充」で、国民健康保険の子ども均等割減額措置を行うが、市独自施策とどう対応するのか</p> <p>4 地域医療の今後について 佐和田病院は、9つの診療科のうち5つの診療科を閉鎖するが、入院患者や地域医療の在り方はどうなるのか</p> <p>5 佐渡航路問題に佐渡市として、どう対応しているのか 佐渡航路の危機的状況に佐渡市がどう対応しているのか全く見えないとの声もあるが、どう対応し、どう解決方向を目指すのか</p>	中川直美
10	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 今後の経済対策、戦略をどのように考えているか (2) 今後の感染症対策について</p> <p>2 入島税の導入について</p> <p>3 心の教育支援事業について</p> <p>4 大型危険廃屋の対応について</p> <p>5 子育て支援について (1) おむつの定額サービスを実施すべきと考えるがどうか (2) ファミリーサポートセンターについて</p>	北 啓
11	<p>1 消防力・消防体制の充実について (1) 住宅用火災警報器の設置促進活動が実施されている。1年前、消防長は市民に新潟県の平均目標に取り組むと答弁で断言されたが、現在の設置率の状況について、市民に約束したことはどのような認識なのか。また、今後の対応について、どう対応するのか (2) 消防職員の人員体制について、定数減が長年続いている。議会から人員確保すべきと指摘されているが、今後どう対応するのか (3) 遠隔地の消防署はバックアップ体制で対応しているが、事故があつてからでは取り返しがつかない。救急と消防が同時出動できる体制にするべきだが、今後どう対応するのか (4) 消防本部災害統計（令和2年）について問う ① 火災発生件数 ② 救急出場件数 ③ 救助出動件数等</p> <p>2 国が進めるデジタル化・マイナンバーカードの普及促進等について (1) 佐渡市には個人情報保護条例があり、市民の個人情報とプライバシーの権利を守るために、国からの個人情報保護の規制緩和や規制の撤廃を行わないことを断言（約束）していただきたいことについて問う (2) 国は佐渡市（自治体）の窓口における各種手続きについて、オンライン化を進めるとしている。オンライン化しても、市民と職員が対面できる窓口を存続させることとセーフティネット機能を維持することについて問う (3) マイナンバーカードのデメリットとメリットについて問う (4) マイナンバーカードは他の人に個人情報を見られることは絶対にないということについて問う (5) マイナンバーカードは紛失（落とす）しても、他の人に見られないということについて問う (6) マイナンバーカードのICチップで勝手に情報を取得されてしまう危険性はないということについて問う</p>	中村良夫

順	質 問 事 項	質 問 者
11	<p>(7) マイナンバーカードの普及率とマイナポイントと個人情報について問う</p> <p>3 コロナ禍等での各制度についての実施状況と周知の徹底等について問う</p> <p>(1) 生活福祉資金貸付制度・緊急小口資金</p> <p>(2) 介護保険料の減免制度</p> <p>(3) 国保税免除・減額</p> <p>(4) 生活保護制度</p> <p>(5) 市営住宅家賃減免</p> <p>(6) 住宅リフォーム制度</p> <p>(7) 就学援助制度等</p> <p>4 佐渡医療圏・地域医療の充実について</p> <p>(1) 佐渡医療圏の全体的な現状と充実の見解について問う</p> <p>(2) 新両津病院建設の進捗状況と地域説明会（市民意見・要望に対しての見解）について問う</p> <p>(3) へき地医療の責任、存続と充実について問う</p> <p>5 「佐渡汽船運賃値上げは大問題」について 航路は離島の生命線、コロナ禍で佐渡汽船任せではなく、離島振興法、海上国道の立場で離島航路を守るため、国、県の責任を果たささせるべきだ。来年運賃値上げにはならないということを約束していただきたいが、佐渡市長の見解を問う</p>	中村良夫
12	<p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 令和2年度の決算審査から浮かび上がった課題や問題について</p> <p>(1) これまで佐渡市は一者見積による随意契約という特殊な契約の件数が非常に多いことが分かったが、類似団体などと比べてどう評価してきたのか</p> <p>(2) 市の土地賃借料の決め方はどのように定められているのか。客観性や合理性は担保されているのか</p> <p>(3) 社会福祉協議会が運営する通所介護事業所は、島内周辺部に位置するほど経営が厳しく、営業日数を減らすなどのサービスの低下を招いている現状が見られた。経費削減が介護サービス削減につながることは、地域によるサービスの格差とも言えるため、社会福祉協議会に補助金で公的支援をしている佐渡市として、地域住民や利用者のニーズを調べ、市民のために考え直してはどうか</p> <p>2 より早期のジェンダー平等実現について</p> <p>(1) 男女平等政策の推進をもっと加速化させるため、企画課に担当させるべきではないか</p> <p>(2) DVなど暴力・暴言に遭った場合、被害者に対するケアプログラムなどはあるが、加害者に対するケアプログラムはどのようなものがあるのか。それを更に充実、徹底させるべきであるが、どうか</p> <p>3 ひとり親家庭でも安心して暮らせる佐渡づくりについて</p> <p>(1) 佐渡のひとり親家庭の現状はどのようなものか。母子世帯、父子世帯などそれぞれの形態は何世帯で、それぞれの形態の一世帯の平均収入はいくらか</p> <p>(2) これらの世帯の困っていることは何か。特に母子世帯に困難が多い傾向があるが、それらをどう把握し、解決に当たっているか</p> <p>(3) ひとり親家庭に対する温かい理解と支援のできる地域づくりを強化する政策はあるか</p> <p>(4) プレひとり親世帯に対する支援はされているか</p> <p>(5) ひとり親世帯手帳を作ってみてはどうか</p> <p>4 グローバル化推進と在佐渡外国籍住民との共生社会づくりについて</p> <p>(1) 佐渡市総合計画の中に外国籍をルーツとする人に対する政策を積極的に載せるべきではないか。なぜそうになっていないのか</p> <p>(2) 日本語を学ぶ機会を積極的に広げるべきではないか。日本語教室の拠点を増やし、時間帯も幅広くし、いち早く佐渡の生活に慣れるためのソフトインフラを増やすべきであるが、どうか</p>	荒井眞理

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>(3) 観光のインバウンド対応にこの方々を登用するためのガイド養成事業を行ってはどうか</p> <p>5 学校教育の急速なICT化問題について</p> <p>(1) 国のコロナ対策によりタブレット端末が全児童生徒に支給されたものの、子どもたちや保護者への説明はまだ十分に行われていないのではないか。そのような段階で使い始めるのは早すぎると思うが、現状はどのようなになっているか</p> <p>(2) 子どもが一人でインターネットを使えるようになる前に、例えばネットモラル、ネットトラブル、ネット被害、ゲーム依存、ユーチューブ依存、また学校のタブレットとスマホの違いなどを全ての親子で共通認識を持てるような機会を設けるべきではないか</p> <p>(3) 子どもや保護者が問題に直面したり困ったとき、気軽に相談できる窓口や機会を設けたり、アンケートで困り事を受け付けたりし、問題が大きくなる前に早く解決できるような仕組みをつくっておくべきではないか</p> <p>(4) 子どもがタブレット端末を使えなかったり、使わないことを選んだ場合の手立ては構築されているのか。子どもや保護者に周知されているか</p> <p>6 建設から年数のたっている庁舎や校舎などの安全対策について</p> <p>(1) 人が出入りする公共施設の防災や安全に係る設備点検は適切に行われているのか</p> <p>(2) それらの設備に不備があった場合、どのように対処し、関係者への周知・連絡をどのように行うかのマニュアルはあるか</p> <p>7 職員研修や連絡・打合せ会などを充実させ、市民の負託に応えられる組織体制を構築せよ</p> <p>(1) 市の課題解決のための独自の政策立案をしたり、国、県などから来る新規事業について調査、研究してから計画に着手することが、その後の税金の執行に当たり重要と考えるが、そのために必ず研修などの期間を設けるようにしてはどうか</p> <p>(2) 支所・行政サービスセンターには、個別の課題が発生することが多々ある。それを住民との地域づくりに生かすため、支所・行政サービスセンターに配置される職員には地域づくりの研修を必ず受けさせることとしてはどうか</p> <p>8 気候危機の影響をできるだけ小さくするための取組について</p> <p>(1) COP26を受け、全世界が取り組むCO2排出削減目標が決まった。この目標に至ったことは、海面上昇により水没する島国からの訴えを受けた切実な成果でもある。離島佐渡も全力でカーボンニュートラルの取組を加速させるべきではないか</p> <p>(2) 学校では子どもたちがSDGsの理解とその目標に向かう行動について積極的に学んでいる。行政もSDGs推進室を設置し、子どもたちの行動の延長線上に結び付けた取組を、市民社会、民間企業などに具体的な行動ができるよう示し、促すべきではないか</p> <p>(3) カーボンニュートラルや省エネをテーマにした佐渡独自のやってみたくなる挑戦を市民や企業から募集してはどうか</p> <p>9 博物館ビジョンはいつできるのか。待ったなしの課題が山積みしていると思われるが、スケジュールはどうなっているのか</p>	荒井眞理
13	<p>1 核兵器禁止条約に対する市長見解</p> <p>2 GIAHS認定10周年を迎えて、認定の効果と今後の本市農業の方向</p> <p>3 地域循環共生圏とSDGs未来都市構想の概要</p> <p>4 自然エネルギーの島構想の内容と市の方針</p> <p>5 農業政策</p> <p>(1) 令和3年産米の米価下落対策</p> <p>(2) 認証米の作付面積及び農家数の推移と今後の取組方針</p> <p>(3) 新規就農者支援事業の現状と新制度の内容及び受給者見込み</p> <p>6 各計画の進捗状況を問う</p> <p>(1) LCC東京直行便運航</p> <p>(2) 世界遺産登録</p> <p>(3) 庁舎建設</p>	近藤和義

順	質 問 事 項	質 問 者
13	(4) 両津病院及び歌代の里建設 7 新型コロナウイルスの感染防止と経済対策 8 多子世帯出産成長祝金等の給付状況と今後の見通し	近藤和義